

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会 たより

平成30年11月30日発行

第35回ことう地域チームケア研究会を開催しました

- ◆開催日時:平成30年11月8日(木) 18:30~20:30 (会場:くすのきセンター)
- ◆担当団体:湖東圏域のリハビリ職・彦根愛知犬上介護保険事業者協議会
- ◆参加者:86名(医療関係者39名、福祉関係者24名、行政・包括等23名*内新規23名)



司会:鈴木則成さん
鈴木ヘルスケアサービス株式会社

「これからのリハビリテーション」 ~今その人に必要なリハビリはなんですか~

病院から在宅へ、そして地域社会へ。



デイケアはるのうみ
理学療法士 北川裕士さん

活動と参加

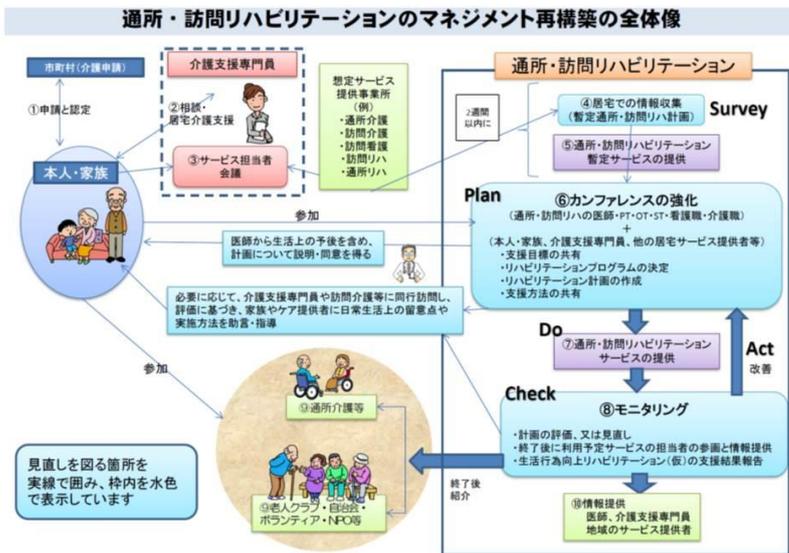


多職種連携



デイケアはるのうみ
理学療法士 中川義崇さん

リハビリテーションマネジメントの強化・生活行為向上リハビリ



他職種との連携の必要性

- ・自宅訪問(モニタリング)やリハビリテーション会議などで利用者さんの日常生活でのneedsやhopeを聞き取る。
- ・CMや家族、他事業所との連携を図ることで利用者さんのneedsやhopeをより実現可能なものに。

連携を図ることで活動・参加を促進する。

リハビリテーション会議

- リハビリテーションの支援方針
- リハビリテーションの内容
- 各サービス間のサービス提供に当たって共有すべき事項検討

【在宅介護支援事業所】
マックスひこね
ケアマネジャー 三浦さん

【訪問看護ステーション】
レインボウひこね
理学療法士 西秋さん



その人らしい生活を取り戻すために

- 「仕事に復帰したい、自立した生活を送りたい」
- 「外を歩きたい、外出時に電動車いすで自由に動きたい」
- 「自宅のお風呂で湯船につかりたい」

今回紹介していただいた事例に関わった多職種の方にもそれぞれの立場でリハビリ職との連携や利用者さんとの関わりについて話していただきました。

- ◆リハビリテーションの役割は変わってきました。機能障害の改善から始まり、生活機能の向上、社会参加まで担うものとなっています。
- ◆身体機能の維持・改善といった部分をサポートするだけではなく、「自分らしい生活を続ける」ためにサポートするという観点から、関っていく必要があります。
- ◆自立支援につなげていくには、リハビリテーションをしたその先に、どんな可能性が広がっているのかを考えることが重要になります。



【訪問介護サービス】
田中ケアサービス
介護福祉士 又吉さん



【福祉用具貸与・販売】
ケアサポートおうち
福祉用具相談員 中野さん



グループ交流会



○話題提供を聞いた感想など

本日学んだことで最も印象に残ったことは何ですか？
それはなぜですか？
その学びを今後どのように活用したいですか

◆その人の生活をしっかり確認した上で、どこに焦点を当て目標を決めて支援していくかということが印象に残った。その方のモチベーションを保つことが難しいことが多く、そこを支えるのがいかに大切かを感じた。
今後、生活の中でのその人の課題を見据えた上で、病院でも支援ができると良いと思う。

◆本人、家族が安心して過ごせる環境や本人の想いが引き出せる専門職の関わり(「自分の願いを言ってもいいんだ」と思える関わり)が重要であると感じた。
このような関わりやチームケアが他の利用者に関わる時にも活かされ、本人のモチベーションの維持やアップにつながり、支援の広がりを作っていけるようにしたい。

◆リハは日々の継続が必要で、本人の状態に合わせ、リハ職に関わる時間以外でのリハビリの必要性を感じた。また、専門職だけではなく公共交通機関、企業等、地域資源も含めての連携が必要であると感じた。



○リハビリテーション、多職種連携について感じたこと

◆病院では退院目標を設定しての支援が多いが、自宅での生活を考えた支援が必要なのだと感じた。
◆目標の設定は、本人の意向だけでなく、家族の意向もあり難しいと感じることもある。
◆今回のケースは目標がはっきりしていて、目標達成のためチームケアがうまくできたと感じた。目標が示せない方に対しては、本人にとって何が大切なのかという視点をもってリハビリの専門職や多職種が関わっていけるとよいと思った。

◆互いの意見をはじめて聞くことが多かった。共通する部分が少ないことに気づいた。共通する部分が少ないと現場での関わりも少なくなるので、このような多職種の集まる場で交流することは大事になると感じた。
◆今後様々な事例を出していくこと、うまくいかなかったケースも共有していけると良いと思う。

◆機能回復だけではなく、食べることでの回復も大切であると思うので、**栄養や口腔**のことも考えていけるとよいと思った



世話人会代表
松本明さん

「リハビリ」とは、「re (再び)」+「habilis (適した)」、再びその人らしい生活を取り戻すために取り組むことです。どの時期に、どのようなリハビリに取り組むか、どのような関わり方をするかで、その人の生活が大きく変わっていく状況を何度も目にしてきました。
今回紹介していただいた事例からもリハビリの内容や目標設定、関わり方、多職種でのチームケアが非常に重要であることを学ぶことができました。
うまく支援できた事例だけでなく、うまくできなかったなどと思う事例も含めて、さまざまな事例を多職種で共有する中で、他の利用者さんへのかかわりの中にも生かし、生活の質が高まり、可能性が広がっていくとよいなと思います。

ご参加ください! 次回(第36回)は...

◆平成31年1月10日(木) 18:30~20:30

会場:くすのきセンター1階

テーマ:「**歯科・口腔 キュア(治療)とケア**

いつまでもおいしく食べたい! そのために必要なこと」

担当団体:彦根歯科医師会

彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会

*研究会は申込み不要です。当日会場へお越しください

*問い合わせ先:ことう地域チームケア研究会事務局
彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)
彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

お知らせメールの登録をお願いします。

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前
②ご所属③一言」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局

(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

彦根医療福祉推進センター(彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町)

在宅医療福祉情報の森

<http://kusunoki-jyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>
ホームページで研究会の情報をご覧いただけます。

こんなこと思いました

第35回参加者アンケートより

思ったこと、もう少し聞きたいことなど

【歯科医師】

- 多くの人々が関わり多職種連携の大切さを確認した。実際に関わった体験談をたくさん聞いたことは良かった。

【理学療法士】

- 多職種との連携の重要性、利用者の方の社会生活を見据えたアセスメントが必要であると感じました。
- 多くの他職種の方の意見や考え方を知ることができてとても参考となった。
- 今回スムーズに、また協力的に進んだケースだったと思うが、その中でも苦労した点や、他にうまく行なえなかったケースを聞いたら良かったと思う。継続したりハピリ職のかかわりのケースばかりではなく、どうつなげていくか、どういう地域資源を使っておられる方があるのかなども話がいろいろ出てよかったのではないかと思う。
- とても勉強になりました。
- リハピリについて多職種の考えや意見を聞くことができた。
- 失敗の事例を教えてください。
- 在宅復帰に際して多種多様な職種が関係していてその方により良い環境をしていくのは難しいと思った。
- 他職種の方と話し合える機会を得て参考になった。
- 意欲がある方にはチームケアも展開しやすいが、そうでない方にはうまく展開できているのか。失敗例も聞きたかった。医師と教習所の自動車運転に対する評価が違うがどちらが重要視されるのか。

【作業療法士】

- 自分の職種の中だけでは気づかないことを知ることができました。作業療法士の勉強会だけでなく多種多様なものに参加しようと思いました。
- 各職種から他職種へ質問する機会が得られてよかったなと思いました。
- 症例の方へのリハピリで、難しかったことなどももっともっと知りたかった。
- 各職種、場面によって患者様の見せる顔が違うということが印象的であり非常に勉強になりました。
- 普段は話せていない他職種と話せてよかった。
- 毎度毎度、連携の重要性を感じます。

【言語聴覚士】

- 退院後の患者様の生活を見据えたりハピリが必要だと思いました。また、それに伴い他職種の方との連携が大切だと思いました。

【看護師】

- 横のつながり、チームケアが今後広がってきますように。

【医療ソーシャルワーカー】

- 地域でのリハピリについてどういったことをされているのかを知ることができてよかった。MSWとして今後リハピリ職の方と積極的に関わっていこうと思う。
- 本人の好きな事や生業はなんだったのか。

【介護支援専門員】

- 意欲の低い方の引き出し方でのチームケアについてもお聞きしたい。
- リハピリ→生活を取り戻すこと、機能の訓練だけではないということ、できていたことができなくなる心のケアも大切ということ、勉強になりました。

- ・成功事例を聞かせていただけてとても勉強になりました。一人の人生、大事な場面をうまくケアマネジメントしたい。
- ・就労について今回とても上手に復帰されたが、もっといろいろ教えてほしい。
- ・リハ職のかかわりが大切だと感じました。ケアプランに活かしていきたい。
- ・目標がはっきりしていたので同じ方向で関わることができたと思います。

【介護職】

- ・具体的なリハビリ方法が聞ければよかった。リハビリの終了点は何か。
- ・失敗したケースの事例が知りたい。そのことにより他職種でどのように対応したらよいか考えるきっかけになればこの会の意義の向上になると思いました。

【福祉用具専門相談員】

- ・負担割合などの費用面（住宅改修工事費、自助具の費用）、ケアプラン全体も知りたかった。

【医薬品卸】

- ・大変参考になりました。うまくいかないことが多い中で良好事例をうかがうことができありがとうございました。うまくいかなかった事例もうかがえればと思いました。

【不明】

- ・聞き取る力が大事。聞き取ったことは小さなことでも発信することが目標設定になり、それに向けてリハビリをすることで達成できる（不明）。
- ・病院からも連携が取れるように努力していかなくてはいけないと思いました。
- ・リハビリのこと、もっとこれからも聞きたいです。事例はアドバイザーの押さえがあると深みのある学びになると思いました。
- ・「うまくいかなかったケースを知りたい」、「元に戻らなくてもできることはある」という言葉が印象に残りました。
- ・在宅での連携や利用者さんの思いなどを知ることができ、よい学びになりました。グループワークでもよい意見が聞けました。

貴重なご意見・ご感想、本当にありがとうございました。

●参加者の方の所属事業所（順不同）

* 同意をいただいた事業所様のみ掲載しています

【病院・診療所】松木診療所・彦根市立病院・彦根中央病院・友仁山崎病院

【歯科医院】つつみ歯科医院・島野修歯科医院・野村歯科医院・アンジュデンタルクリニック

【薬局】わかば薬局神埼店

【訪問看護ステーション】訪問看護ステーションすずらん・訪問看護ステーションふれんず・レインボウひこね

【居宅介護支援事業所】マックスひこね・NPO ポポハウス・かいこうの郷居宅介護支援事業所・彦根市社会福祉協議会居宅・ケアマネジメントセンターライフ・さざなみ苑居宅支援センター・近江ふるさと会・あったかケアプランセンター

【介護サービス事業所】特別養護老人ホームさざなみ苑・デイサービスセンターべるふらっと・鈴木ヘルスケアサービス・がじゅまる・ケアサポートおうみ・けやきデイサービス・アロフェンテ彦根・デイホームぶどう・ケアパートナーヨシイ・田中ケアサービス・ハッピーライフゆりの郷・デイケアはるのうみ

【地域包括支援センター】愛荘町・彦根市（すばる・ひらた・ゆうじん・きらら）

【行政関係・医療福祉専門職団体】彦根市医療福祉推進課・湖東健康福祉事務所

【その他】ボランティアナースの会キャンパス滋賀犬上・花かたばみの会・中北薬品・スズケン・ウイステリア